

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270100977		
法人名	医療法人白鷗会		
事業所名	まちだグループホーム		
所在地 (電話番号)	〒038-0058 青森県青森市羽白字沢田5の2 (電話) 017-788-6749		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 3日	評価確定日	平成 20年 11月 29日

【情報提供票より】(平成20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 4月 17日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	13人, 非常勤 人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	3,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	5 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.6 歳	最低	61 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	まちだ内科、眼科クリニック、大澤歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>医療と福祉の統合を目指して開設したホームは、法人のバックアップのもと、ホーム独自の理念『地域とのふれあいを大切に 一緒に ゆっくり 楽しみながら』をかがけて、利用者の視点にたったケアに取り組んでいる。以前は病院であった建物を改築している為、病院の名残があり不便を感じる箇所もあるが、家具の配置や装飾等を工夫し、アットホームな環境となっている。周辺には学校や病院、商店、集会所等があり、地域の中にとけ込んでいるホームである。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果をもとに全職員で改善策について話し合い、地域密着型サービスとしての役割を盛り込んだ理念の再検討、介護計画作成のためのアセスメントの見直し等に取り組み、サービスの質の向上につなげている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を実施する際には管理者が全職員へ意見を求め、現在の自分たちのケアを振り返る機会としている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員等の参加のもと、ホームの取り組みや行事、外部評価の報告等を情報提供し、意見交換を行っている。提案や意見等は活発に出ない状況があるが、利用者や家族、市担当者等への参加を促し、サービスの質の向上につなげていきたいという意欲がある。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時に利用者の暮らしぶり等を伝えながら、意見や要望が話せる雰囲気作りを心掛けている。不満や苦情があった時は、苦情受付担当者へ報告、職員間で情報を共有し、すぐ対応して日々の支援に反映させる体制がある。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や外出時に近所や店の方と挨拶をしたり、声をかけてもらう等の関係がある。また、町内会のねぶた祭りや敬老会等に参加し、地域との交流を図っている。地域へ向けて、高齢者への情報提供や認知症普及活動については、さらなる取り組みを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの役割について反映させた理念を全職員で再検討し、事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念を掲示し、日々の業務の中で理念が職員間に浸透し、利用者の視点にたったケアに取り組んでいる。		理念の実現に向けて取り組んでいるが、理念として追加した地域のふれあいについての取り組みも今後期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩や外出時に近所や店の方と挨拶をしたり、声をかけてもらう等の関係がある。町内会のねぶた祭りや敬老会等に参加し、地域との交流を図っている。中学生のボランティアを積極的に受け入れている。		今後、地域へ向けて、高齢者への情報提供や認知症普及活動へのさらなる取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の目的について、全職員が理解し、自己評価を実施する際には、職員へ意見を求めている。評価実施後は、結果をもとに改善点を職員間で話し合い、具体的な対策を検討し改善に向けて取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員等の参加のもと、ホームの取り組みや行事、外部評価の報告などを情報提供し、意見交換を行っている。欠席者へは次回参加時に、会議録を配布している。</p>		<p>利用者、家族、市担当者等へも参加の働きかけや、不参加の場合でも意見をいただき、サービスの質の向上へつなげることが望ましい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月1回程度、市担当者へ出向くことはあるが、課題について協議するなど、積極的な関わりはもっていない。</p>		<p>運営推進会議参加をきっかけに、より積極的に情報交換する機会をつくることを望ましい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度についての資料は配付しているが、現在利用対象となる利用者がいないこともあり、活用するまでに至っていない。</p>		<p>資料の配布以外に、制度について理解を深める機会を設け、今後の活用に期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待は行われるべきではないという考えを全職員が持っている為、研修等は開催していないが、資料を配付し学ぶ機会としている。</p>		<p>資料の配布以外に、制度について理解を深める機会を設け、全職員の共通理解になることを期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書に基づいて、利用者・家族にわかりやすい言葉を用いて説明し、同意を得ている。不明な点はいつでも問い合わせができることを必ず付け加えている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭出納等を報告している。面会に来られない方や急を要する時は、電話連絡している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に利用者の暮らしぶり等を伝えながら、意見や要望が話せる雰囲気作りを心掛けている。不満や苦情があった時は、苦情受付担当者へ報告し、解決に向けた話し合いをする体制がある。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はできるだけないようにしたいと考えている。やむを得ず異動がある場合は、職員の連携を通してコミュニケーションを図り、信頼関係を築くように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が年数回、外部研修に参加する機会を設けている。研修参加者から、資料の配付や伝達研修等を受けている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センター圏域内のグループホームと交流の機会があり、相互のホームの見学や意見交換を通じて、サービスの質の向上のために参考にしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居直後は、利用者の不安や緊張を和らげるために、職員が寄り添い、コミュニケーションを図り、安心感を得てもらうように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のペースに合わせて過ごすことを大切にしている。調理方法や昔ながらの知恵、文化等、教えてもらいながら、コミュニケーションを図っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との会話の中から希望や興味のあることを引き出し、できるだけ希望に添えるように努めている。意思疎通が困難な方へは、家族に相談したり、日常生活での情報を参考にし、利用者の視点にたって考えることを大切にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者・家族の意向を踏まえて、担当者による日常生活の状況や医療機関等の情報を参考に、計画作成担当者が中心となって介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、介護計画の見直しをしている。利用者の状態変化や意向等が変更になった時は、その都度作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の希望に応じて、受診の送迎や外出支援等を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前から法人のクリニックを受診している利用者が多いが、これまで通りのかかりつけ医や希望により、他医療機関を受診している。法人のクリニックとは連携体制があるため、情報交換が円滑に行われている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>法人のクリニックとの連携により、重度化や終末期に対応している為、入居時に利用者・家族への説明をし、同意書を交わしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>特に、入浴や排泄介助時等は声掛けや対応などプライバシーに配慮するよう努めている。記録等の個人情報に関しては、事務所内で管理している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員配置によりすぐ行動に移すことが困難な場合もあるが、利用者個々のペースと意向を大切に、できるだけ希望に添えるよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>テーブル拭きや下ごしらえ、片付け等、利用者の力を引き出せるよう働きかけている。利用者の好みや旬のもの、出前をとるなど食事に変化をつけ、会話をしながら楽しい雰囲気作りを心掛けている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回入浴日を設定しているが、利用者の希望にできるだけ添えるように対応している。入浴を拒否する方へは時間をおいてから促したり、体調不良の方には足浴や清拭、着替え等を行っている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者・家族からの生活歴や情報をもとに、これまでの生活が継続できるよう、役割や楽しみごとを自然な形で促している。気晴らしとして外出支援や、年数回、遠出をすることもある。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は近所へ散歩へ出掛けたり、買い物の希望がある方へは職員が付き添い、外出している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行わないという姿勢で全職員がケアをしている。研修は実施していないが、資料を配付し、学ぶ機会としている。</p>		<p>資料の配布以外に、制度について理解を深める機会を設け、全職員の共通認識になることに期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関にセンサーが設置されているため、日中は施錠をしていない。外出傾向や帰宅願望がある方に対しては職員間で見守り、付き添って外出する等して対応している。夜間は防犯のため、施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、利用者と一緒に避難訓練を実施している。法人との連携体制があり、マニュアル化されている。災害時に備えて、水や食品等を備蓄している。</p>		<p>地域住民の協力を得られるように、今後の働きかけに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の状況に応じて、栄養バランスや食事形態に配慮して提供している。1日の食事・水分摂取量は概ね把握し、個別ケースに記録している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症マニュアルを作成し、職員に周知している。流行時には、利用者、職員はもちろん、来客者へも手洗いうがいの予防を促している。毎年、利用者・職員はインフルエンザ予防接種を受けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>病院を改築したホームであるため、ハード面で病院の名残があるが、生け花や装飾、家具等、家庭的雰囲気大切に工夫している。湿温計が設置され、季節によりエアコンや加湿器等を用いて、利用者確認しながら調整している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>これまでの生活を継続し安心して生活できるよう、入居時に利用者・家族へ使い慣れた家具や愛着のあるものを持ち込むように促し、居室が個々の空間となっている。</p>		

 は、重点項目。